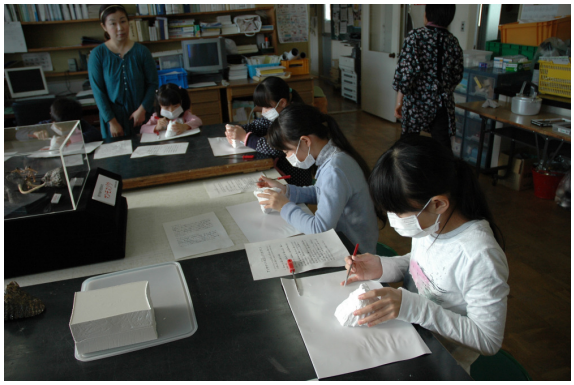
郷土資料館 ウィンタースクールの様子

# 化石のレプリカを作ろう！



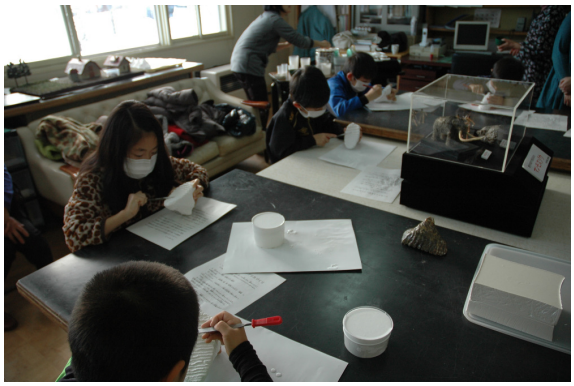
と　　き　　平成 27 年 1 月 9 日
　　午前 10 時～午後 3 時 30 分
と　こ　ろ　　別海町郷土資料館　研修室
参加者数　　午前の部 8 名　午後の部 5 名
講　　師　　石渡一人（別海町郷土資料館主査）

　別海町で発見される化石には貝やマンモスゾウの臼歯化石があります。人気のあるアンモナイトなどは、残念ながら発見されません。

　今年度のウィンタースクールは、所蔵資料のマンモスゾウ臼歯化石とアンモナイトを活用し、化石のレプリカを作る講座を小学生対象に実施しました。

　マンモスゾウ臼歯化石はあらかじめ石膏で作成したものを整形する作業からはじめました。実物を見ながらヤスリで削る作業を慎重
に行いました。

　アンモナイト化石は、シリコン製の型に自分で石膏を流し込んでもらいました。10 分程度でかたまり、型からはずしヤスリなどで整形します。一部の参加者は着色を行いました。時間の都合上完成することは出来ませんでしたが、自宅で着色し冬休みの工作として出品するそうです。

参加者の感想（原文そのまま）

- ふだんは、こんなきかいがないので、すごくいいけいけんになりました。
- あなをきれいにけずれて、かんせいかんがあった。
- マンモスの化石がよくできたのでよかったです。あと家では、こういうきかいがないので、よかったと思いました。
- けずったりするのが、とでもたのしかったです。
- アンモナイトのレプリカを作るのをまた、やりたいです。